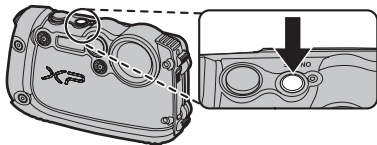


基本的な撮影と再生

SR AUTO (シーンぴったりナビ) で撮影する

ここでは、SR AUTO 撮影の基本的な流れを説明します。被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動的にシーンを認識して最適な設定にします。

- 1 ON/OFF (電源) ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。**
SR AUTO 撮影画面が表示されます。



SR AUTO (シーンぴったりナビ) について

カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。



SR AUTO シーンアイコン

カメラが最適なシーンを認識すると、画面にシーンアイコンが表示されます。

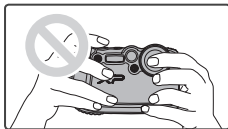
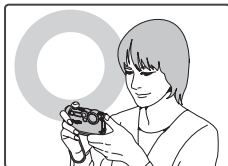
- | | | |
|--------|---------|-----------|
| • (人物) | • (夜景) | • (夜景&人物) |
| • (風景) | • (マクロ) | • (逆光&人物) |

◆ シーンを認識しなかった場合は、SR AUTO (AUTO) で撮影されます。

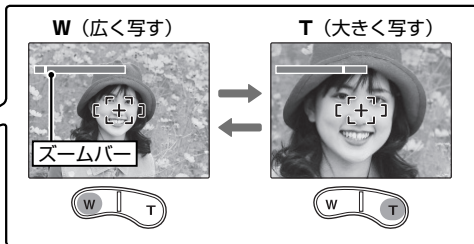
◆ () 内は動くものを認識したときの表示です。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズ保護ガラスやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



3 ズームボタンを押して、構図を決めます。



4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

- ピントが合ったとき
ピピッと音が鳴ります。



- ピントが合わないとき

赤色の AF フレームと **!AF** が液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (図 41)。

- ◆ シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

写真が撮影されます。



● シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押し、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む (全押しする) と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするためシャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光が発光しないように設定を変更できます (図 103)
 - ◆ 暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます (図 44)。
- ① 常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください (図 15)。

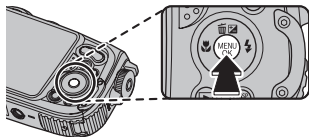
いろいろな撮影


シーンに適したモードで撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2**  撮影モードを選んで、▶ を押します。
撮影モードの選択画面が表示されます。






















- 3** 撮影モードを選んで、MENU/OK ボタンを押します。
撮影モードが設定され、撮影メニューに戻ります。



- 4** DISP/BACK ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

撮影モード一覧

撮影モード	機能
 シーンぴったりナビ	被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします (図 27)。
 AUTO	カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。
P プログラム	カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。
 連写重ね撮り	暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています (図 33)。
 HDR	露出が異なる複数の画像を撮影して合成し、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像に仕上げます (図 34)。
 高感度 2 枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
 ナチュラルフォト	暗い場面でも、目で見たまの雰囲気を活かした自然な写真を撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 アドバンスフィルター	さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます (図 35)。
 ぐるっとパノラマ 360	カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します (図 36)。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しが強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中撮影を行うときに使います。
 水中マクロ	水中で、被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。